

1、参加年齢(アンケート結果提出者分)

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
数	0	9	23	11	10	6	59

参加年齢



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代
■ 40代 ■ 50代 ■ 60代

2、性別

性別	男	女
数	11	50

性別

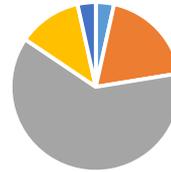


■ 男 ■ 女

3、勤務年数

年数	~3	3~5	6~10	11~15	16~
数	2	11	36	7	2

勤務年数



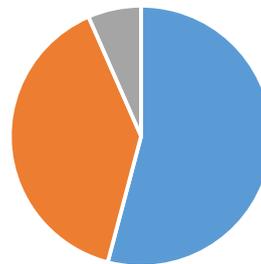
■ ~3 ■ 3~5
■ 6~10 ■ 11~15
■ 16~

4、研修満足度

1部 認知症ケアの基本知識

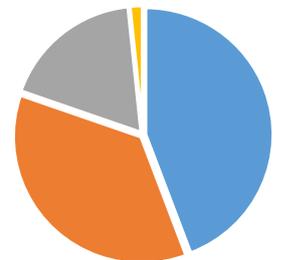
満足度	5	4	3	2	1
数	33	24	4	0	0

1部 基本的知識



■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

2部 コミュニケーション

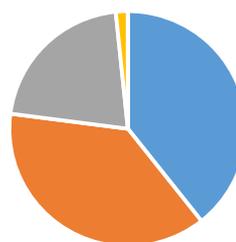


■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

2部 ケアを導き出すアセスメントとコミュニケーション

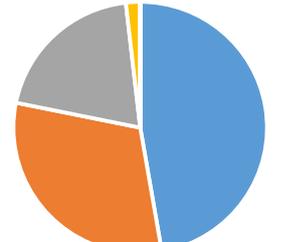
満足度	5	4	3	2	1
数	27	22	11	1	0

3部 コーチング



■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

4部 魅力ある先輩



■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

3部 気づきを促すコーチング技術

満足度	5	4	3	2	1
数	24	23	13	1	0

4部 魅力ある先輩になるために

満足度	5	4	3	2	1
数	26	17	11	1	0

1、印象深く学べた部分

- ・ 傾聴のスキル・・・当たり前前ことができていなかったと反省しました。ティーテングが多かったのでコーティング術で気づかせるやさしさができるようになりたいです。
- ・ どう地域とつながって行けたのか少し筋道が見えた気がしました。すっきりした気がしました。もっといろいろと話が聞きたかったです。
- ・ 魅力ある先輩になるために努力していきたい。
- ・ 地域との関係など今まで意識していなかったことも多かったので、考えるきっかけになった。
- ・ 気づきを促すコーティング技術。日頃の自分の声掛けができていないことを痛感した。
- ・ 中核症状
- ・ 一つの行動や言葉も問題行動か行動のサインかと受け入れることで目的やその後が変わっていくこと。
- ・ 地域の関係性について
- ・ すべてにおいてたくさんのことを学べました。
- ・ BPSD を招く一番の要因は人であること。関わりでは安心感を持ってもらうための声掛けを考えること
- ・ 気づきを促すコミュニケーション技術
- ・ 自分の事業所にとどまらず、地域との交流にまで目を向けること。また、認知症ケアのスペシャリストではなく、いろんなことを学ぶ姿勢を大切にしたいと思った。
- ・ とても勉強になりました。
- ・ 傾聴のルールとポイント
- ・ 傾聴について
- ・ マインドマップ
- ・ 魅力ある先輩になるために
- ・ 質問のスキル
- ・ リフレーミング
- ・ 傾聴のスキル
- ・ 「傾聴について」・・・自分の勤める GH の今期の目標が「利用者の声を傾聴する」なので、とても勉強になりました。傾聴の意味を、もう一度職員全員で話し合いたいです。
- ・ 認知症ケアに関する知識
- ・ どう対応するかではなく、本人の思いにどう向き合うかということを考える。苦しむことの大切さ！
- ・ コーティングについて少し勉強になりました。
- ・ 繰り返しの言葉。ティーテイングとコーティングの目的
- ・ コーティング
- ・ 傾聴のルールとポイントを学ぶことができた。
- ・ 明日から実践したいと思う
- ・ 2部3部4部と難しくも考えさせられるところが多く、勉強になりました。
- ・ 気づきを促すコーティング。話し方によって話が広がるというところ
- ・ 傾聴について深くよく学べました
- ・ コーティングも知れてよかったです

- ・ 個人ワークをしてみて普段問題視しないテーマばかりだったので難しかったけど勉強になりました。
- ・ 基本知識のところで **BPSD** をなくすだけの対応でなく、本人がどうしてほしいのか気持ちを考えることが大切だと思いました。
- ・ 中核症状を理解することで、声掛けや行動、自分たちのかかわり方が変わっていくことを学べた。(中核症状を理解せずかかわってしまうと間違った声掛けをしてしまう)
- ・ 傾聴の部分
- ・ どう対応すればおさまるかではないというところが自分は普段気を付けているだろうか
- ・ 最初に自己紹介で認知症の方と同じような感覚と言われ心に残った。皆様はいつも初対面のように感じている。
- ・ 3部気づきを促すにはどうしたらいいのか、日々どうして促せばいいのか、迷っている部分があり、とても勉強になりました。
- ・ 基本的知識は勉強したことはあったけど改めてケアするうえでの必要性を認識しました。
- ・ 利用者さんとのコミュニケーションのときに意識しながらやっていきたいと思う。
- ・ コーティングは難しかった。
- ・ 自分の目標を決め、少しでも成長できるように努めたいと思う。
- ・ 現在関わっている方に対して今後どのように接していったらいいのか考える機会になりました
- ・ 4部魅力ある先輩になるためにということで初めて聞いた単語やこのような研修は今まで受講したことがなかったので、もっと知識を深めていきたいと思いました。それと同時にむずかしさをととも感じました。
- ・ リフレーミングを学べたことでスタッフ間だけではなく利用者とのかかわりでも前向きな言葉をたくさん使えるようになりたいと思った。
- ・ 関わりについて考え直すきっかけとなることが多くありました。出来ないことに目を向けるのではなく、出来ること、出来なくてもしようとする気持ちにどう関わっていくか、大切なことだと感じました。
- ・ ケアを導き出すアセスメントとコミュニケーション
- ・ 気づきを促すコーティング技術はとてもよかったです。今後現場につなげていきたいです。
- ・ 認知症の方の接し方、考え方
- ・ コーチング～声掛けについて
- ・ 援助者として人とかわること。傾聴することの大切さ。
- ・ 全て丁寧に学ぶことができました
- ・ 3、コーチング技術と4、のところが勉強になりました。
- ・ 気づきを促すコーティング技術
- ・ 認知症ケアの基本的知識
- ・ ケアを導き出すアセスメントとコミュニケーション
- ・ 出会い、交わり合いの中で必要不可欠なこと。満足・安心・信頼ケアの方法は違っても、スタッフの目指しているところが同じでなければならない。
- ・ 3部気づきを促すコーチング技術
- ・ 認知症を対応する際、利用者の中核症状を知りケアを行っていきたいと思います。今までそのようなことを考えてケアをしていませんでした。②～③は今まで学んだことがなかったため難しかった。

- ・ 脳梗塞の部位をすることでケアに必要なことがわかる。
- ・ 相手を気づかえる言葉を発しているか。苦しみに共感しているかメッセージになる。
- ・ 1部)1場面を深く考えることを日頃心がけているつもりでいたができていないと気づけた。
- ・ 3部)人の話を聞く意味、聞こうとする気持ちについて考えることができました。
- ・ 4部)自分に足りないことばかりで改めるべきと感じた。

2、研修全般で気になった部分（迷ったり不快を感じたりした部分）を教えてください。

- ・ 資料と説明話がなかなか結び付かなかった。ペースが速く感じた。
- ・ 話し方がすごく優しくて聞きやすかったです。ありがとうございました。
- ・ 長く座っていて腰が痛かった
- ・ 質問の意味が分からなくなったりした部分があった
- ・ 研修内容一つ一つにもっと時間かけ深く知りたと思った。
- ・ 講師の方が後ろで笑いながら談話されていたこと
- ・ 考えることを文章にしたり言葉にすることのむずかしさを感じた。もっとグループ内でいろんな話をしたかった。
- ・ 初めて参加させていただきましたがコーチングはとても難しかったです。
- ・ 難しく理解できなかった。
- ・ とくにありません。講師の皆様お疲れ様でした。
- ・ 個人ワーク難しかった。
- ・ 発表が嫌でした。
- ・ 特にないです。3
- ・ 質問の意図がわかりにくいところがありました。
- ・ 質問のスキル、資料を帰ってから改めて確認します。
- ・ ないです。
- ・ コーチング難しかったです。少しずつ深く学んでいきたいと思います。
- ・ 最初ついていけるか不安だったが大丈夫でした
- ・ 個人ワークが難しく解けなかったところがあった。
- ・ 抑揚にある話し方をしてほしい。単調で眠かった。大事なところがアクセントがないので聞き逃してしまった。
- ・ 質問がいちいち難しい
- ・ 大変勉強になりました。
- ・ 後ろ席でのスタッフの方々の雑談が聞こえてきたのが少し気になりました。
- ・ 今日の会場の広さであればテーブルの間隔を少し広げていただければグループ内の会話が聞き取りやすかったように思います。

3、今後鹿児島県認知症GH協議会の研修活動にどのようなことを期待しますか？

- ・ 講師の方ともっといろいろ話したいです。
- ・ 認知症の理解を多くの人に広めてほしい。
- ・ このような研修をどんどんやってほしい。
- ・ 最後の碓山さんの奄美での話はすごく聴いていて面白かったです。
- ・ このような研修をたくさん続けてほしい

- 研修会をしてください
- 地域とのつながりをよく深めるための研修を企画してほしい。
- カンファレンス・ミーティングの進め方
- 同じGHで働く方の状況や声がたくさん聞ける場を作ってほしい。他のGHの介護情報は聞きたい。
- 定期的を開催して多くの人に体験してほしいと思います。
- これからもいろいろな勉強会をよろしくお願いいたします。
- 地域とのかかわりを深める。
- 今後もスキルを上げるための研修を期待します。
- 再びまた介護についてをやる機会がほしいです。
- また、このような研修に参加していきたいと思いました。
- GH同士の意見交換の場になりました。
- 大変かと思いますが、このような機会を今後も開いていただけたらと思います。今日はありがとうございました。